

「江戸文藝文庫」蔵書解題（六）

○抱谷文庫旧蔵書（その一）

——せりふ正本類

原 道生*

本学図書館所蔵の江戸文藝文庫には、抱谷文庫旧蔵の文献資料が多数収蔵されている。

この抱谷文庫とは、歌舞伎・人形浄瑠璃を中心とする近世文学の研究者として知られた元埼玉大学教授、故大久保忠国氏が自身の蔵書に対して命名したもので、同氏の専門領域である江戸期の芝居や音曲関係の写本・板本を始めとし、小説・風俗書・節用集等々、広く当期の原本類を蒐集しているコレクションとして、早く同氏生前の頃から研究者たちの関心を集めていたものだった。

ちなみに、同文庫に関しては、所蔵者逝去の後に国文学研究資料館の手で悉皆調査が行われ、また、一時期、同館に寄託されてマイクロフィルム

化されたものが閲覧に供されたりもしているが、その後、市場に出されるという経緯を経て、その一部を本学図書館が購入するに至ったという次第なのである。

現在、本学図書館が所蔵する同文庫旧蔵書の内容は、薄物正本・役者評判記・芝居番付・草双紙その他多岐にわたるものがあるが、今回は、右の薄物正本の中から、同文庫の特色の一つとされるせりふ正本およびそれに類する板本五十点弱につき、以下に示す通りの簡略な解題を施すことにした。なお、残りの薄物正本約五十点は、長唄・めりやす・常磐津・踊り口説等、音曲関係のものだが、これらについては、他日に譲ることとしたい。

凡例

一、抱谷文庫旧蔵の薄物正本のうち、せりふ正本およびそれに類する板本の解題を、上演年時順に配列し、また、その末尾に、年時未詳のものとしりふ正本以外のものを付載した。

一、書名は、原則として、外題によるものとし、破損等のために推定を加えた場合には、「―」を付して示すことにした。また、それ以外の記載の翻字に際しても、破損で判読不能の部分は□で示し、推読できる場合には、その下に「―」で記すことにした。

一、翻字に際しては、仮名遣いは原本通りとし、漢字は、特殊な場合を除いては、現行の字体を用いることにした。

一、原本が複数冊より成る場合には、上巻の記載によることを原則とした。

一、角書に付された振り仮名は、当該漢字の下に「―」で記すことにした。

一、上演年時は、原則として、『歌舞伎年表』に従つ

た。

一、表紙絵に関しては、役名と役者名とを記し、その他の文字による記載も併わせて翻字した。

一、同文庫薄物正本全般についての基礎的調査に関しては、二〇〇四年度における大学院演習の受講生諸氏の協力を得、また、今回の原稿整理には、小川澄人氏の手を煩わせた。併わせて謝意を表したい。

1 外郎売市川団十郎せりふ

(ういろうりいちかわだんじゅうろうせりふ)

番号 912.539-21/H

外題 外良売市川団十郎せりふ

内題 ういらうり

狂言外題
番・立目 わかみどりいきほいそが
若緑勢曾我

上演年時
座 享保三年正月 森田座

版元 藤田

表紙絵
役者他 曾我五郎 市川団十郎

葉箱に「本小田原／ういらう」

2 冷水売藤村半太夫せりふ

(ひやみずうりふじむらはんだゆうせりふ)

番号 912.539.36/H

外題 ひや水うり藤村半太夫せりふ

内題 水うりせりふ 藤村半太夫

狂言外題
番・立目 こうよふぐんだん

上演年時
座 享保五年二の替り 市村座

版元 中島屋

表紙絵
役者他 ほうぎれ小まん 藤村半太夫

櫓下の三枚の看板に「藤村半大夫」「市

村竹之丞」「中村竹三郎」

備考 狂言外題、年表では『甲陽軍』

3 油売いの字尽し沢村宗十郎せりふ

(あぶらうりのじづくしさわむらそう)

じゅうろうせりふ)

番号 912.539.35/H

外題 油うりのじづくし沢村宗十郎せりふ

内題 あふらうりせりふ 沢村宗十郎

狂言外題
番・立目 つるかめわがやきそが
鶴亀稚曾我

上演年時
座 享保六年正月 市村座

表紙絵
役者他 曾我十郎 沢村宗十郎

油箱に「惣十郎あふら」

4 池の庄司池尽しせりふ市川団十郎

(いけのしょうじいけづくしせりふいちか

わだんじゅうろう)

番号 912.539.18/H

外題 いけの庄司いけつくしせりふ市川団十郎

内題 いけつくし
をぐりちやうせいでん

狂言外題
番・立目 小栗長生殿 第一番目

上演年時
座 享保十年十一月 中村座

版元 中島屋

表紙絵
役者他 池の庄司 市川団十郎

5 不破伴左衛門せりふ市川団十郎

(ふわのばんざえもんせりふいちかわだんじゅうろう)

番号 912.5/39-15//H

外題 不破伴左衛門せりふ市川団十郎

内題 不破の伴左衛門せりふ

任言外題 末広名護屋 第二番

番・立目 享保十一年盆 中村座

上演年時 版元 中島屋

表紙絵 役者他 不破伴左衛門 市川団十郎

6 市川団十郎太鼓尽しせりふ

(いちかわだんじゅうろうたいこづくしせりふ)

番号 912.5/39-25//H

外題 市川団十郎たいこづくしせりふ

内題 たいこづくしせりふ

任言外題 顔魁十二段 第一番目

番・立目 享保十一年十一月 中村座

版元 中島屋

表紙絵 役者他 鎌倉権五郎景政 市川団十郎

7 前髪景清霜月寿せりふ市川団蔵

(まえがみかげきよしもつきことぶきのせりふいちかわだんぞう)

番号 912.5/39-19//H

外題 前がみ景清霜月ことぶきせりふ市川団蔵

内題 前髪景清霜月の祝

任言外題 雛常盤源氏 第一番目

番・立目 享保十一年十一月 市村座

上演年時 版元 中島屋

表紙絵 役者他 景清 市川団蔵

8 曾我兄弟掛合鳥柴のせりふ沢村宗十郎市川団

十郎

(そがきようだいかけあいとしばのせりふさわむらそうじゅうろういちかわだんじゅうろう)

番号 912.5/39-13//H

外題 曽我兄弟かけ合鳥柴のせりふ 沢村宗十郎

市川団十郎

内題 鳥柴のせりふ

狂言外題 番・立目 榎根元曾我 第一

上演年時 享保十二年春 中村座

版元 中島屋

表紙絵 役者他 曾我十郎 沢村宗十郎

曾我五郎 市川団十郎

9 子路負米曾我の五郎せりふ市川団十郎

(しろふべいそがのごろうせりふいちかわ

だんじゅうろう)

番号 912.5/39-20//H

外題 子路負米そかの五郎せりふ市川団十郎

内題 子路(しろ) 曾我(そが) 五郎せりふ

狂言外題 番・立目 榎根元曾我 第二番目

上演年時 享保十二年春 中村座

版元 中島屋

表紙絵 役者他 曾我五郎 市川団十郎

10 太刀売せりふ市川団十郎

(たちうりせりふいちかわだんじゅうろう)

番号 912.5/39-28//H

外題 太刀売せりふ市川団十郎

内題 たちうりせりふ

狂言外題 番・立目 本領佐々木鑑 第二番目

上演年時 享保十二年五月 中村座

版元 中島屋

表紙絵 役者他 荒岡源太 市川団十郎

11 楠正行せりふ市川升五郎

(くすのきまさつらせりふいちかわますご

ろう)

番号 912.5/39-10//H

外題 楠正つらせりふ市川升五郎

内題 楠正行せりふ 市川升五郎

狂言外題 番・立目 八棟太平記 第二番目

上演年時
座

享保十二年十一月 中村座

版元

中島屋

表紙絵
役者他

楠正行 市川升五郎

12 坂東彦三郎江戸名所尽しせりふ

(ばんどうひこさぶろうえどめいしよづくしせりふ)

番号 912.539.31/H

外題 坂どう彦三郎江戸めい所づくしせりふ

内題 江戸めいしよつくしせりふ 坂東彦三郎

狂言外題
番・立目

紅葉軍記 第二

上演年時
座

享保十二年十一月 市村座

版元

中島屋

表紙絵
役者他

直江大和之助 坂東彦三郎

備考 狂言外題、年表等には、『御所染紅葉軍記』

13 畑六郎左衛門謡尽しせりふ市川団蔵

(はたろくろうざえもんうたいづくしせり

ふいちかわだんぞう)

番号 912.539.26/H

外題

畑六郎左衛門謡つくしせりふ市川団蔵

内題

かほみせうたひづくしせりふ 市川団蔵

狂言外題
番・立目

豊年太平記

上演年時
座

享保十二年十一月 森田座

版元

中島屋

表紙絵
役者他

畑六郎左衛門 市川団蔵

14 榎の五郎せりふ市川団十郎

(ゆずりはのごろうせりふいちかわだん

じゅうろう)

番号 912.539.30/H

外題 ゆつりはの五郎せりふ市川団十郎

内題 ゆづりはやのね五郎 市川団十郎

狂言外題
番・立目

扇恵方曾我 第一番目

上演年時
座

享保十四年正月 中村座

版元

中島屋

表紙絵
役者他

曾我五郎 市川団十郎

表紙左端に「大薩摩主膳太夫上るりかけ

合」と記載。

15 樸矢の根五郎せりふ市川団十郎

(ゆずりはやのねごろうせりふいちかわだ
んじゅうろう)

番号 912.539-34/H

外題 樸矢の根五郎せりふ市川団十良

内題 ゆずりはやのね五郎 市川団十郎

任言外題
番・立目 扇恵方曾我 第一番目

上演年時
座 享保十四年正月 中村座

版元 中島屋

表紙絵
役者他 曾我五郎 市川団十郎

表紙左端に「大薩摩主膳太夫
三味せんきねや十郎」上るりかけ合
と記載。

備考 14とは表紙異板、本文は14の覆刻力。

16 曾我荒五郎男立せりふ市川団十郎

(そがのあらごろうおとこだてせりふいち
かわだんじゅうろう)

番号 912.539-6/H

外題 曾我荒五良男立せりふ市川団十良

内題 曾我荒五郎せりふ 市川団十郎

任言外題
番・立目 扇恵方曾我 第二番目

上演年時
座 享保十四年正月 中村座

版元 中島屋

表紙絵
役者他 荒五郎茂兵衛 市川団十郎

17 荒五郎茂兵衛江戸町尽しせりふ市川団十郎

(あらごろうもへええどまちづくしせりふ
いちかわだんじゅうろう)

番号 912.539-7/H

外題 あら五郎茂兵衛江戸町づくしせりふ市川

団十郎

内題 あら五郎江戸町つくしせりふ

任言外題
番・立目 扇恵方曾我 第二番目

上演年時
座 享保十四年正月 中村座

版元 伊賀屋

表紙絵
役者他 荒五郎茂兵衛 市川団十郎

18 黒船忠右衛門男立大坂町尽しせりふ大谷広次

(くろふねちゆうえもんおとこだておおさ
かまちづくしおおたにひろじ)

番号 912.5/39-8//H

外題 くろふね忠右衛門男だて大坂町づくしせ

りふ 大谷広次

内題

くろふね忠右衛門
大谷広次大坂町づくしせりふ

狂言外題
番・立目

扇恵方曾我 第二番目

上演年時
座

享保十四年正月 中村座

版元

伊賀屋

表紙絵
役者他

黒船忠右衛門 大谷広次

19 丸一追善紋尽し市川団十郎鶴屋南北掛合せり

ふ

(まるいちついぜんもんづくしいちかわだ
んじゅうろうつるやなんぼくかけあいせり
ふ)

番号 912.5/39-33//H

外題 丸一ついぜんもんづくし市川団十郎
つるや南北かけ合せ

りふ

内題

ついぜんもんづくし

市川団十郎
つるや南北

狂言外題
番・立目

扇恵方曾我 第二番目

上演年時
座

享保十四年正月 中村座

版元

中島屋

表紙絵
役者他

曾我五郎 市川団十郎

鬼王 鶴屋南北

油箱に「丸一あふら」

備考

当興行中の正月二十五日に没した初代市

川門之助追善のせりふ。

20 丸一彼岸桜賽の河原初舞台冥途の褒詞

ふたいめいどのほめことば)

番号 912.5/39-17//H

外題

丸一まるいちひがんひがんさいいの川原かわら初はつぶたいめいど

のほめことば

内題

市川門之助めいどのほめことば 鼠仙

上演年時
座

享保十四年三月成力

版元

江見屋

表紙絵
役者他

鬼 市川門之助

備考

享保十四年正月 中村座『扇恵方曾我』に
團三郎役で出勤中、同月二十五日に没し
た初代市川門之助追善の褒詞。上演の有
無は不明。

内題の「市川門之助」は白ヌキ文字。

21

実悪清濁のせりふ市川団十郎

(じつあくせいだくのせりふいちかわだん
じゅうろう)

番号

912.5/39-16/H

外題

実悪清濁のせりふ市川団十郎

内題

実悪清濁のせりふ 市川団十郎

狂言外題
番・立目

袖鏡子福者常盤 第二番目

上演年時
座

享保十四年 中村座

版元

中島屋

表紙絵
役者他

渋谷金王 市川団十郎

22

阿修羅王のせりふ大谷広次

(あしゅらおうのせりふおおたにひろじ)

番号

912.5/39-29/H

外題

あしゅら王のせりふ大谷広治

内題

あしゅら王のせりふ 大谷広治

狂言外題
番・立目

袖鏡子福者常盤 第二番目

上演年時
座

享保十四年 中村座

版元

中島屋

表紙絵
役者他

源為朝 大谷広次

23

虚無僧の掛合せりふ浄瑠璃市川団十郎沢村宗

十郎

(こもそうのかけあいせりふじょうるりい
ちかわだんじゅうろうさわむらそうじゅう
ろう)

番号

912.5/39-22/H

外題

こも僧のかけ合せりふ上瑠璃市川団十郎

内題

沢村宗十郎

表紙絵
役者他

虚無僧かけ合のせりふ

沢村宗十郎
市川団十郎

狂言外題
番・立目
蔵開宝曾我 第一番目
上・演年時
座
享保十五年正月 中村座

版元
中島屋

表紙絵
役者他
曾我五郎 市川団十郎

曾我十郎 沢村宗十郎

表紙右端に「大薩摩主膳太夫」と記載。

24 仕形十番切歌留多尽しせりふ市川団十郎荻野

伊三郎

(しかたじゅうばんぎりかるたづくしせり
ふいちかわだんじゅうろうおぎのいさぶ
ろ)

番号 912.5/39-14//H

外題 しかた十ばん切かるたづくしせりふ
荻野

伊三郎

内題 仕形十番切かるたづくしのせりふ

狂言外題
番・立目
蔵開宝曾我 第二番目

上・演年時
座
享保十五年正月 中村座

版元
中島屋

表紙絵
役者他
曾我十郎 市川団十郎
曾我五郎 荻野伊三郎

25 年玉扇売のせりふ市川団十郎

(としだまおうぎうりのせりふいちかわだ
んじゅうろう)

番号 912.5/39-5//H

外題 年玉あふぎ売のせりふ市川団十郎

内題 年玉扇子売のせりふ 市川団十郎

狂言外題
番・立目
傾情福引名護屋 第二番目

上・演年時
座
享保十六年正月 中村座

版元
中島屋

表紙絵
役者他
年玉売り万屋よし兵衛 市川団十郎

荷箱に「万屋／よし兵衛」

26 曾我兄弟魂祭せりふ沢村宗十郎市川団十郎

(そがきようだいたままつりせりふさわむ
らそうじゅうろういちかわだんじゅうろ
う)

番号 912.5/39-32/H

外題 曾我きやうだい玉まつりせりふ 沢村宗十

良市川団十良

内題

曾我兄弟魂祭せりふ

市川団十郎
沢村宗十郎 かけ合

狂言外題

妻迎 鶏 曾我 壹番目

上演年時

享保十六年三月 中村座

版元

中島屋

表紙絵
役者他

曾我十郎 沢村宗十郎

曾我五郎 市川団十郎

備考

『資料 二世市川団十郎』は番付に依拠して

七月上演とする。

27

衣川紅の潮藤戸物語掛合せりふ 坂東彦三郎

(きぬがわくれないのうしおふじとものが
たりかけあいせりふはどうひこさぶろ
う)

番号 912.5/39-24/H

外題

衣川紅の湖ママふぢ戸ものかたりかけあい

せりふ 坂東彦三郎

内題

坂東彦三郎ふぢ戸のせりふ

狂言外題

おふすまふぢとげんじ
大舩藤戸源氏 第二番目

上演年時

享保十六年盆 市村座

版元

泉屋権四郎

表紙絵
役者他

佐々木盛綱 坂東彦三郎

市村竹之丞

ふじ 佐野川万菊

かさね 三条勘太郎

与右衛門 中村新五郎

28

楠多門丸正虎紋尽し名乗言葉市川升五郎

(くすのきたもんまるまさंतरあもんづくし
なのりことばいちかわますごろう)

番号 912.5/39-12/H

外題

楠多門丸正とら紋尽名のり言葉市川升

五良

内題

楠正とら紋尽 市川升五良

狂言外題

わがういちじたいへい
和合一字太平記 第壹番目

上演年時

享保十六年十一月 中村座

版元 中島屋

表紙絵
役者他
楠正虎 市川升五郎

29 化物尽し勇力註文せりふ市川団十郎

(ばけものづくしゆうりきちゆうもんせり
ふいちかわだんじゆうろう)

番号 912.5/39-23/H

外題 化物（化）物づくし（物）せりふ市河団十良

内題 勇力註文（ゆうりきちゆうもん）せりふ 市川団十郎

狂言外題
番・立目
兵根源蛭小島 第壹番目

上演年時
座
享保十七年十一月 市村座

版元 中島屋伊左衛門

表紙絵
役者他
真田与市 市川団十郎

30 曾我五郎時宗市川団十郎同名尽しのせりふ

(そがのごろうときむねいちかわだんじゆ
うろうどうみょうづくしのせりふ)

番号 912.5/39-27/H

外題 そがの五良時宗市川団十良同名（どうめう）づくしの

せりふ

内題 市川団十良同名（どうめう）づくしのせりふ

狂言外題
番・立目
栄分身曾我 第壹番目

上演年時
座
享保十八年正月 市村座

版元 泉屋権四郎

表紙絵
役者他
曾我五郎 市川団十郎

絵像上部に「五郎ごつたいごきなます」
と記載。

31 新談義地蔵尽しせりふ市川升五郎犬坊丸

(しんだんぎじぞうづくしせりふいちかわ
ますごろういぬぼうまる)

番号 912.5/39-1/H

外題 新談義地蔵（しんだんぎぢぞう）つくしせりふ市川升五郎犬坊

丸

内題 新談義地蔵（しんだんぎぢぞう）つくし 市川升五郎

狂言外題
番・立目
七種繁曾我 第壹番目

上演年時
座
享保十九年春 市村座

版元 中島屋

表紙絵
役者他

犬坊丸 市川升五郎

32 橋尽しせりふ尾上菊五郎

(はしづくしせりふおのえきくごろう)

番号 912.5/39.42//H

外題 橋はしづくしせりふ尾上菊五郎

任言外題
番・立目 日本塘にほんづみ鶏みどり音おと曾我 第二ばんめ

上演年時
座 宝暦七年正月 中村座

版元 伊賀屋

表紙絵
役者他 佐野治郎左衛門 尾上菊五郎

表紙左下に「およそゆるかぬにほんばし
はなの□□□「おゑと」の江戸橋にゑな
らぬことをやつがれがさいわいもらつた
(以下不明)」と記載。

33 鳥刺し浮かれ朝比奈せりふ

(とりさしうかれあさいなせりふ)

番号 912.5/39.39//H

外題 □(鳥)さし浮流朝比奈 上

内題

□(と)り 鳥さし浮流あさいな よしひで 市村亀蔵相

つとめ申候

任言外題
番・立目

そめたづなはつむまそが 染手綱初午曾我 第一番目

上演年時
座

宝暦七年二月 市村座

版元

泉屋権四郎

表紙絵
役者他

小林朝比奈 市村亀蔵

絵像左方に「上るりかけあいせりふ入り小

林のあさいな 市村亀蔵相勤申候」、また上方に

「へすがたをやつす鳥さしのところくのみきとくりあさつきなますからしあへ」と記載。

備考

上中下三冊を合綴。

中の表紙絵は「朝比奈三郎 市村亀蔵／

大磯虎 山下金作／箱王丸 市川升蔵」、

下は「小林朝比奈 市村亀蔵／梶原源太

中島三甫蔵」。また、上・下の表紙右

方に「浄瑠璃 薩摩小源太夫 三味線 西川億蔵

小鼓 宇野長七／宇野弥之助」と記載。その

他、中・下に他のせりふ・配役等の記載

あり。

34 扇尽しのせりふ山下金作

(おうぎづくしのせりふやましたきんさく)

番号 912.5/39-41//H

外題 (破れで欠)

内題 扇売のせりふ あふきうり 山下金作

任言外題
番・立目 そめは つむま曾我 そが 第二ばん目

上演年時
座 宝暦七年二月 市村座

版元 泉屋権四郎

表紙絵
役者他 (破れで欠)

余白に「へかほるふさつきはなやかに」

と記載。

備考 上下二冊を合綴。

下の外題「あふぎづくしのせりふ 下、

表紙絵は「扇売新七本名源経若丸 山下

金作」、他にせりふの記載あり。

(さかいちようふきやちようちややいえな
づくしじぐちほめことば)

番号 912.5/39-37//H

外題 さかい町茶(ちや) 家名づくしぢぐちほめことば いゑな

上演年時
座 上

任言外題
番・立目 恋染隅田川 第壹番目

上演年時
座 宝暦八年春 市村座

版元 泉屋権四郎

表紙絵
役者他 褒め手 亀次力

表紙右端に「十六日ニほめ申候」、余白に

「中村富士郎へゑびや八まん大ぼさつい

せや・かすがや・すみよしやうぶすな様

は天神屋」と記載。

備考 上下二冊を合綴。

下の表紙、外題脇に「小あみ町ひいき連

衆より」、また、左方に「男江口花吹雪富士 はなふきふしの

菅笠 すががさ 市村座／中村富士郎 慶子 エイジ 牡華

作」と記載し、富士郎の女西行の絵像を

掲載。

35 堺町葺屋町茶屋家名尽し地口褒詞

36 〔傾城願立早口祭文市川八百蔵〕

（けいせいがんだてはやくちさいもんいち
かわやおぞう）

番号 912.539.43//H

外題 傾城（けいせい）
□□□□〔祭〕文 市□〔川〕□

内題 （破れで欠）

初買和田宴 第二ばん目

宝暦九年正月 中村座

版元 村山源兵衛

弁長 市川八百蔵

備考 『歌舞伎年代記』に八百蔵の弁長「女郎

願立速口祭文大あたり」とあり、同文を
挿絵入りで掲載。

37 大黒舞恵比須舞米尽し肴尽し掛合せりふ市村

亀蔵大谷鬼次

（だいこくまいえびすまいこめづくしさか
なづくしかけあいせりふいちむらかめぞう

おおたにおにじ）

番号 912.539.44//H

外題 大黒舞（だいこくまい）米尽肴尽かけ合せりふ市
村亀蔵大谷鬼治 □〔上〕

二十山蓬萊曾我 第壹番目

宝暦九年正月 市村座

版元 泉屋権四郎

曾我十郎 市村亀蔵

小林朝比奈 大谷鬼次

備考 上下二冊を合綴。下の表紙絵も同様。

38 暫のせりふ市川団蔵

（しばらくのせりふいちかわだんぞう）

番号 912.539.2//H

外題 しばらくの演文市川団蔵

内題 しばらくの演文

咲此花顔 第一ばんめ三立目

安永五年十一月 中村座

版元 村山源兵衛

表紙絵
役者他

須藤兵部尉としみち 市川団藏

画者「清経」

39 ひの字尽しせりふ坂東又太郎

(ひのじづくしせりふばんどうまたたろう)

番号 912.5/39-3//H

外題 ひの字^{じづくし}尽せりふ

内題 ひの字^{じづくし}尽つらね

任言外題
番・立目 咲此花顔聞 ^{さくやこのはなのかほみせ} 第一ばんめ三立目

上演年時
座 安永五年十一月 中村座

版元 村山源兵衛

表紙絵
役者他 進の左兵衛尉家貞 坂東又太郎

画者「清経」

40 菊尽し褒詞

(ぎくづくしほめことば)

番号 912.5/39-38//H

外題 菊^{きく}つくしほめ^{ことば}ことは 上

内題 菊^{きく}づくしほめ^{ことば}詞

任言外題
番・立目

^{かねてきくじやうるりざか} 聰淨瑠璃坂 第貳ばん目

上演年時
座

安永九年七月 市村座

表紙絵
役者他

版元 泉屋権四郎

褒め手 坂東此吉

任言外題下に「作者左株」、左脇に「第

貳ばん目新きやうけん来^ル九日より瀬

川菊之丞／四季の大しよき相勤申候」、

「坂東此吉はめ申候」と記載。

備考 上下二冊を合綴。

下の表紙絵「山姥と金太郎 瀬川菊之

丞」、他に上と同文の記載あり。

41 江戸名所尽し褒詞

(えどめいしよづくしほめことば)

番号 912.5/39-40//H

外題 江戸名所^{えどめいしよ}づくし^{ほめことば} 褒詞 上下

内題 江戸名所^{えどめいしよ}づくし^{ほめことば} 誉詞

任言外題
番・立目 戻駕籠法志賀山 ^{もどりかごのりのしがやま}

上演年時
座 寛政八年四月 都座

版元 桐屋伝左衛門

売所 中島屋伊左衛門

表紙絵
役者他

新吉原芸者 荻江東十郎

新吉原芸者 坂田彦兵衛

狂言外題脇に「来^ル六月朔日より七日迄
仕候」と記載。

備考

当興行、年表では、四月八日より『祇園
祭礼信仰記』のところ、四月十六日（五
月五日トモ）より中村仲蔵七回忌追善の
「戻駕籠法志賀山」が付く。

42 寿狂言披露口上市川小団次

（ことぶききょうげんひろうこうじようい
ちかわこだんじ）

番号 912.5/39-96/H

外題 寿狂言披露口上市川小団次相勤申候

上演年時
座

慶応元年九月 中村座

版元

村山源兵衛

表紙絵
役者他

口上 市川小団次

画者「香蝶楼国貞」

表紙右上方に「寛永元^甲年より／
二百四十余年相続／^{士代目}中村勘三郎」と
記載。

43 市川今団十郎歌留多尽し褒詞

（いちかわいまだんじゅうろうかるたづく
しほめことば）

番号 912.5/39-93/H

外題 （表紙欠）

内題 市川今団十郎<sup>かかるたつくし
ほめことば</sup>

上演年時
座

（未詳）

備考 奥付「せりふ 仁兵衛」と記載。

44 艾売せりふ江戸市川団十郎

（もぐさうりせりふえどいちかわだんじゅ
うろう）

番号 912.5/39-50/H

外題 江戸市川団十郎もぐさうり

内題 もぐさうりせりふ

上演年時
座 (未詳)

版元 大坂 糸屋市兵衛

表紙絵
役者他 艾売 市川団十郎

薬箱に「いろはづぼうし」

45 今井鮎売せりふ坂田半五郎

(いまいすしうりせりふさかたはんごろう)

番号 912.5/39.49//H

外題 すしうり 鮎売せ □ □ [ふ]

内題 今井すしうりせりふ 坂田半五郎

上演年時
座 (年時未詳) 中村座

版元 大坂 糸屋市兵衛

表紙絵
役者他 鮎売 坂田半五郎

46 返魂丹売せりふ坂田半五郎

(はんごんたんうりせりふさかたはんごろう)

う)

番号 912.5/39.48//H

外題 はんごんたんうり 返魂丹売 坂田半五良

上演年時
座 内題 ちうと やまはんごんたんせりふ 田坂半五良

表紙絵
役者他 (年時未詳) 森田座

薬売り 坂田半五郎

薬箱に「はんごんたん／越山返魂丹」

47 心太売せりふ森田勘弥

(ところてんうりせりふもりたかんや)

番号 912.5/39.46//H

外題 ところてんうりせりふ

内題 ところてんせりふ 森田勘弥

上演年時
座 (未詳)

版元 大坂 糸屋市兵衛

表紙絵
役者他 心太売 森田勘弥

荷台看板に「めいふつ／ところてん／しらたま」

48 居合遣い

(いあいつかい)

番号 912.539.47/H

外題 いやひつか□〔い〕

内題 いやひつかひ

上演年時
座 (未詳)

表紙絵
役者他 居合遣い

薬箱に「はんごんたん／越中 富山返魂丹」

49 極楽のつらね

(いづちくのつらね)

番号 912.539.95/H

外題 極楽のつらね

上演年時
座 天保二年成

表紙絵
役者他 閻魔王と暫

表紙右上方に「四代鶴屋南北／第三回忌／

相勤申候／鶴屋孫太郎」、左方に「一周

忌二代目／勝俵蔵」と記載。

備考

天保二年、五代目南北による祖父四代目
南北三回忌、養父二代目俵蔵一周忌追善

の際の配り物。

はら・みちお／明治大学図書館長／文学部教授／
国文学、日本近世文学